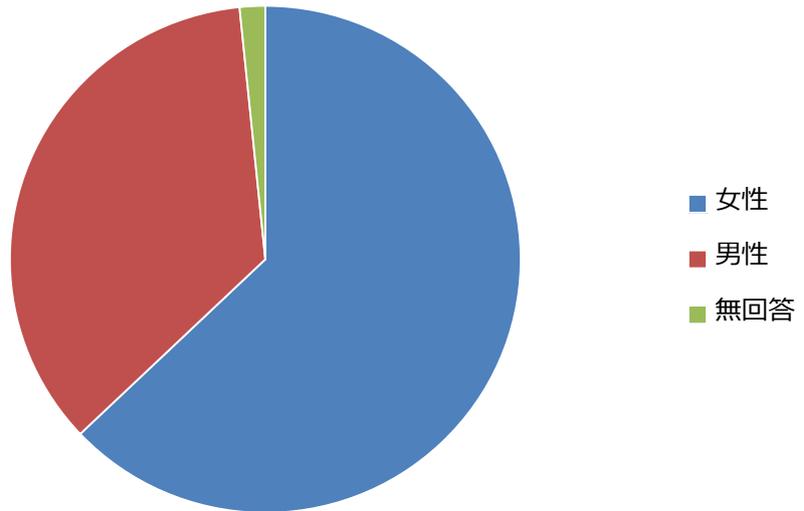


7月21日多職種連携研修会 アンケート結果

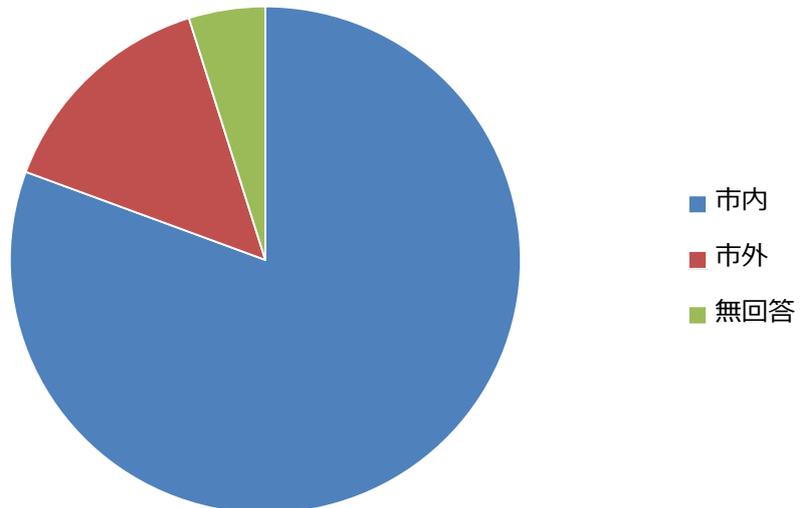
1. 性別

男性	22
女性	39
無回答	1



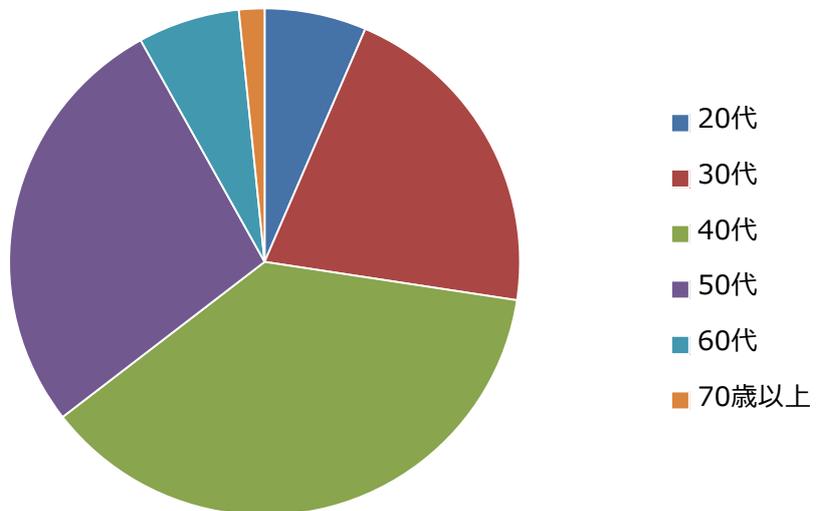
2. 市内外の別

市内	50
市外	9
無回答	3



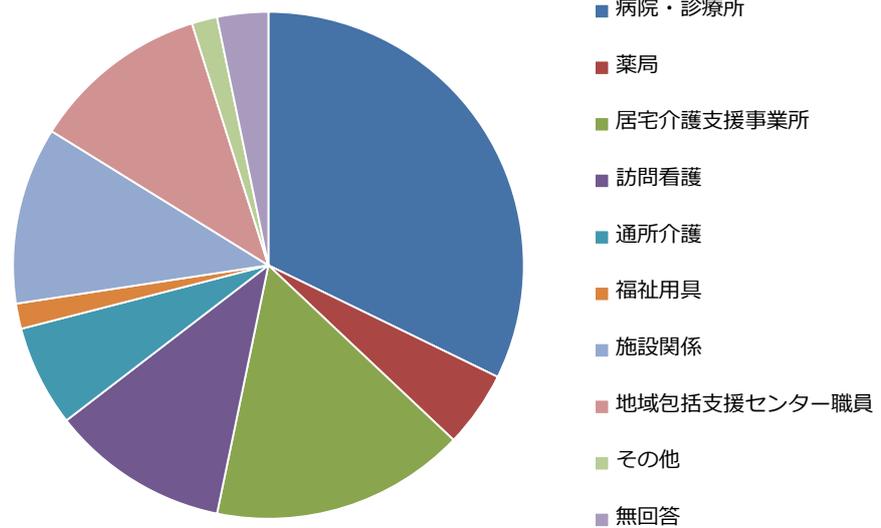
3. 年代別

20代	4
30代	13
40代	23
50代	17
60代	4
70歳~	1



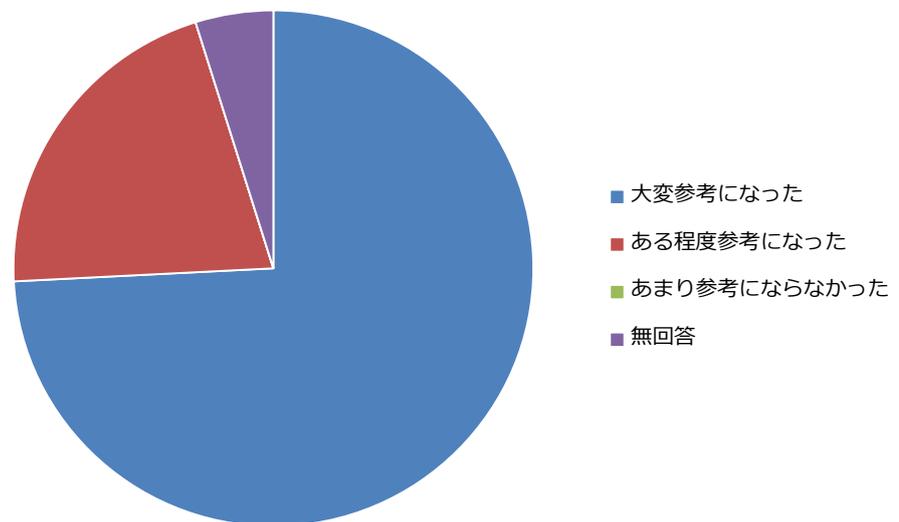
7月21日多職種連携研修会 アンケート結果

4. 所属別



病院・診療所	20	福祉用具	1
薬局	3	施設関係	7
居宅介護支援事業所	10	地域包括支援センター	7
訪問看護	7	その他	1
通所介護	4	無回答	2

5. 参考になったか



大変参考になった	46	参考にならなかった	0
ある程度参考になった	13	無回答	3

7月21日多職種連携研修会 アンケート結果

6. 日ごろ、在宅医療・介護連携を進める上で課題と感じていること（複数回答のあったもの）

・時間が足りない	4
・医師ともっと相談したい	9
・他職種と接する機会が少ない	5
・専門職同士がお互いのことを知らない	6
・情報の共有が難しい	5

- ・市民が在宅介護、在宅医療に対する知識が少ない
- ・担当者会議の進め方
- ・利用者の思いを第一に考え、生活を支えるためのサポートをすること
- ・連携ができていないか分からない

7. 研修会で取り上げてほしいテーマ（全件）

- ・大腿骨頸部骨折連携パス
- ・ケアマネジャーや地域包括支援センターが作った支援計画書が医療側にとって有益なのか、改善点はないか。本音を聞けると参考になる。
- ・今後も多職種の役割を確認できる研修がよい（3名）
- ・各サービス職種が何を意識してサービス提供しているのか。
- ・実際のケースに関する事例検討会
- ・病院側と本音を交換できる場をつくって欲しい。
- ・リハビリテーションについて（医療と介護）もっと知ってもらいたい
- ・実際にあった事例についての検討会
- ・嚥下の分野について
- ・今日のような研修をまたやって欲しい
- ・今回の研修において、本当のテーマのしぼり方が出来ていないと思いました。「他職種」を知る上では互いに話し合いが必要ですが、「顔の見える関係」がしっかり出来ていない状況でした。

【研修会からみえた課題】

- ・医療と介護の連携シートを積極的に活用する。
- ・ケアマネが、病院側から連携シートにより情報を得たことについて、サービス事業所との情報共有を図る体制づくり。
- ・ICTを導入し、関係者による情報共有を円滑に行う。
- ・医療職・介護職がそれぞれのことについての知るための研修会を開催する。

7月21日多職種連携研修会 アンケート結果

6. 日ごろ、在宅医療・介護連携を進める上で課題と感じていること（全件）

- ・各専門職の専門性の理解 例) 嚥下→ST 歩行→PT など どこにお尋ねすればよいか
- ・医療と介護との連携が予想以上にうまくいかない
- ・時間が足りない。すべてのケースに同等の時間をかけられない。いかに効率よく、それでいて的確に情報を発することができているか心配。
- ・医師との連携をするためには、何が必要か？（医師と話したい、相談したい）
- ・時間がない
- ・介護職員として働いていると多職種の方々とふれあう機会が非常に少ない。
- ・サービス担当者会議でしか在宅医や多職種の方と情報共有や情報交換をする時がない。やはり色々な情報をまとめ、発信する役割の人がいないといけない。そして、自分自身もしっかり専門職として発信していけないと感じた。

と感じる。医療者は、在宅介護サービスについての知識が少ないと感じる。

ケアマネとしっかり話せる余裕がない

- ・急性期病院の先生との連携はとりにくい。担当者会議の時間調整を医師にとるのが難しい。
- ・医師に訪ねることが今一よくわからない。どこまで聞けるのか先生により異なるので。
- ・聞き耳をもつこと
- ・大病院との連携
- ・多職種連携がとれているか、反映されているかが大事
- ・なかなかケアマネさんが医師へ問題となっていること等を伝えることを遠慮していけないことが多く、つながらない。
- ・情報のやりとりをいかに多くするか→ICTの活用は急務
- ・なかなか多職種の会議に出る時間がとれない。又、会議をやるにも、しっかり根回しが必要と感じる。
- ・横のつながり
- ・多職種の方と交流する機会が少ない
- ・医療（医師・病院）との連携がとりづらい。具体的には、利用者さんの病歴・病状を聞けない。
- ・利用者様の思いを第一に考え、その方の生活を支えるためのサポートができるよう、他職種の方々と協力しあい、在宅生活をより良くしていきたいと思います。
- ・開業医の医師より大きな病院の医師との連携が図りにくいと思います。
- ・医療と介護の連携。担当者会議が少ない
- ・お互いの介護、医療の壁を取り除くこと
- ・情報のやりとり
- ・医師との連携がとれていない。取りたくても忙しそうだからと遠慮してしまう。そこを解決でき

7月21日多職種連携研修会 アンケート結果

るようになればよいと思います。

- ・現場側から言わせてもらうと、医師の参加（担当者会議）があり、指示してもらうことで、こちらも安心する事が出来るが、どの担当者会議に参加しても、**ほぼ医師の参加がない。**
- ・多職種が同じ思いで連携し、対応策を考えることが難しい
- ・**それぞれが現状（詳細な部分）を知らないこと**
- ・多職種連携の難しさを感じています
- ・担当者会議の進め方。**情報提供の大変さ、**どうしたらよいか。
- ・病院より退院を進めていく際に、**在宅医療・在宅介護の事についての知識が足りない**ため、今後も研修会など参加し、知識を深めていく必要があると思いました。職場でも声を掛けていきたいと思えます。
- ・**介護職が生活の中でよいと考えている声かけと、医療職が考えるサポートや声かけのギャップがあるが、それを埋めるためには自らもアピールしていかなければならない**と考える。